

国民年金で入れる区内での特別養護老人ホーム増設を求めることについての陳情

日頃の区民の為のご尽力に感謝致します。

台東区は高齢者の人が多く、老々介護は大変なものがあります。

台東区の国民健康保険料や介護保険料は改定する度に上がり、保険料の支払いが生活を圧迫しています。そして更に国民年金の切り下げでは、病気や体が不自由になった時、金銭的に施設に入るのも難しく、「長生きして良かったのか」と考えてしまう人も少なくありません。親の介護のため働くのをやめざるを得ない人、老々介護で共倒れになる人、孤独死の知らせも聞きます。

国民年金は月6万6千円、特別養護老人ホーム施設の入所費用は、13～16万円前後の所が多く、介護疲労で90代の親を持つある家族は「施設に入れたいが高すぎて入れられない、家でみるしかない」と、自宅で見えています。ある一人暮らしの高齢の女性は、脱水症状で入院。退院時、施設を紹介されたが、台東区ではなく千葉県であったのがわかり、「住み慣れた台東区を離れたくない」と訴えました。また、認知症の姉を持つ高齢のある女性は、施設を探したが「台東区内では、ないです」といわれ、紹介された多摩地区の施設に姉を入れ、台東区から多摩まで面会に通った例もあります。

介護の必要な低所得の高齢者が区内に住み続けられず、区外や都外の施設で紹介されていきます。区内で介護できない高齢者は平成27年3月、657人、平成30年3月、837人といわれます。今まで台東区を支えてきた人たちです。安心して台東区で老後の生活ができることを希望します。介護をする人もされる人も安心できる、国民年金で入れる区内での特別養護老人ホームの増設を求めます。

陳情項目

- 1、国民年金で入れる区内での特別養護老人ホームの増設を求めます。

令和元年5月22日

台東区議会議長

石 塚 猛 殿